



イケケン先生の『恐縮ですが…一言コラム』

第 497 回 ダメ人間の定義

2012.11.4

「自分は相手から、どう思われているのだろうか」、「自分はダメ人間かもしれない」…。世の中意外と、そう思っている人が多いのに驚いている。特に不安定な社会に翻弄され続けている若い人は、その原因を自分自身に向け、自虐的に「ダメ人間」と定義づけている。いかにも哀れと言わざるを得ない。その傾向を反映してか、若者がこよなく愛するネットの世界にも、「ダメ人間」に関する情報がものすごく多いのに、またまたびっくりである。とにかく気になるらしい。この際だから、「ダメ人間」になる条件(笑)、「ダメ人間の定義」を徹底的に調べてみた。

ダメ人間とは、「何をやってもダメな人」。様々な事柄に関して一般的な人と比べ、劣っている人。世の中に存在する正の要素と負の要素を足し合わせると0になると仮定すれば、天才と呼ばれる人が存在するように、ダメ人間と呼ばれる人も存在するといえる。あまり知られてはいないことだが、この言葉の生みの親はミュージシャン・作家である大槻ケンヂだそう。

劉公嗣氏のホームページ「趣味の館」に「ダメ人間のための憩いの場」というサイトがある。
(<http://www.5a.biglobe.ne.jp/~hampton/001.htm>) その中に、「ダメ人間の定義」という一文があった。彼の主張は、とりあえず6条件、以下の通りである。

- (1) 解決すべきことを先延ばしにする。
- (2) 自分に甘く、同じ失敗を何度も繰り返す。
- (3) 無職だが呑気に構えており、惰眠を貪っている。
- (4) 貯金はほとんどない。
- (5) 友人、知人が少ない。
- (6) 全てに中途半端で何一つモノになっていない。

いずれも全くその通りである。更にさらに、ダメ人間の条件はあるはずである。

案の定ネットの世界では、これでもかというほどダメ人間を追求する。こんなサイトもあった。

「ダメ人間度チェック」 <http://homepage1.nifty.com/ima-dame/2005.htm>

「ダメ人間の定義」 <http://homepage1.nifty.com/ima-dame/teigi.htm>

人間完璧な人はいない。だから小生もダメ人間度をチェックすると、どこかに当てはまってしまふのだろう。でも、現実の世の中は、そんな人間の集まりだから、いくらダメ度を嘆いても、何ら解決しないと思っている。

正真正銘な「ダメ人間」、自分の事をダメ人間と嘆くヤツがダメ人間、ダメだと思った時点でダメ人間…「ダメ人間の定義」を調べる中で、最後にたどりついた、小生の結論である。